

# 北九州高速鉄道株式会社

## I 法人の概要 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

### 1 所在地

北九州市小倉南区企救丘二丁目 13 番 1 号

### 2 設立年月日

昭和 51 年 7 月 31 日

### 3 代表者

代表取締役社長 齊藤 淳

### 4 資本金

3,000,000 千円

### 5 北九州市の出資金

3,000,000 千円 (出資の割合 100.0%)

### 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6 人	0 人	2 人	4 人
常 勤	3 人	0 人	2 人	1 人
非常勤	3 人	0 人	0 人	3 人
職 員	117 人	0 人	0 人	117 人

### 7 市からのミッション

公共交通機関として重要な役割を担う北九州モノレールの安全・正確・快適な管理運営を行うとともに、経営を安定化させる。

## II 平成 28 年度事業実績

開業から 33 年目となる当期においても、引き続き、お客様の安全、正確、快適、利便性の向上に努めてきた。しかし、下期に入り、お客さまの故意によるホーム飛び降り事件等、不可抗力による事象が重なったが、全国の皆さまから励ましの言葉をいただくなど当社に対する関心の高さが伺えた。

当期の営業概況については、平成 27 年 10 月に導入した駅務機器 I C 化による利用増が当期も継続するとともに、平成 28 年 3 月に実施したダイヤ改正による利便性向上の影響も受け、前期を大きく上回る輸送人員となり、開業からの輸送人員が期末には 3 億 5,793 万人に達した。

運輸雑収については、キャンペーン列車等が前期を下回ったこと等による広告収入の減に伴い、前期を下回った。

営業費は、業務効率化による時間外の削減に取り組んだ結果、人件費削減を図ることができ、また電力単価減等による電気料の減と前期の I C オープン化に伴う駅員教育支援業務等が当期はなかったことによる減もみられたが、平成 27 年 10 月に導入した駅務機器のリース料が、今期より 1 年分計上され減価償却費が増加したため、営業費は前期を上回った。

また、市受託業務事務費の減による営業外収益や補助金受給の減による特別利益は前期を下回ったため、駅務機器更新に伴う除却が今期なかったことによる特別損失の減はあったものの、当期純損益は、前期に引き続き損失を計上した。

当期の輸送人員は、前記利便性向上により、1,204万人（前期比38万人、3.3%増）となり、一日当りの輸送人員は、32,995人（前期比1,129人、3.5%増）で、平成12年度以来16年ぶりの32,000人台を突破した。

定期外利用客は、回数券廃止に伴い一部定期券への移行や、ダイヤ改正による夜間帯の利用増等により、630万人（前期比3万人、0.5%増）となった。

定期利用客は、前期を上回る575万人（前期比35万人、6.5%増）となった。通勤定期利用客は、345万人（前期比29万人、9.1%増）となった。通学定期利用客は、148万人（前期比1万人、0.8%減）となった。シルバーパス利用客は、順調に推移しており、82万人（前期比8万人、10.2%増）となった。なお、当期末有効枚数は1,154枚。また、平成27年10月1日から導入したIC乗車券及び定期券（QR乗車券を除く）のIC利用率は全体の70.9%となっている。

運輸収入は、輸送人員の増加に伴い、20億7,208万円（前期比9,766万円、4.9%増）となった。

運輸雑収については、キャンペーン列車の減等により、1億9,514万円（前期比669万円、3.3%減）となり、営業収益は22億6,723万円（前期比9,097万円、4.2%増）となった。

営業費は、駅務機器リースに伴う減価償却費等の増により、前期を上回る23億6,978万円（前期比6,105万円、2.6%増）となり、当期の営業損益は、1億255万円の損失（前期比2,992万円、22.6%増）となった。

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益は、4,077万円の損失（前期比571万円、12.3%増）となった。

上記経常損益に特別損益を加え、法人税等を差し引いた当期純損益は、3,355万円の損失（前期比6,170万円、64.8%増）となった。

設備投資については、車両改造更新（編成7）、通信ケーブル新設（競馬場前～守恒、徳力公団前～徳力嵐山口）、駅務機器QR券改善改造、工作車制御盤取替（301号車）を実施した。

### Ⅲ 平成 28 年度決算

#### 1 貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	17,920,507,977	(負債の部)	5,005,866,235
流動資産	2,159,320,666	流動負債	979,057,745
現金及び預金	1,756,897,046	1年以内返済予定の長期借入金	76,000,000
未収運賃	103,332,180	リース負債	115,408,800
未収金	93,055,227	未払金	435,419,240
未収収益	932,462	未払費用	7,697,220
未収還付法人税等	303,025	未払法人税等	29,155,600
貯蔵品	204,177,463	未払消費税額等	92,298,700
前払費用	623,263	預り金	84,825,691
		前受運賃	71,844,956
		前受収益	16,039,608
		賞与引当金	50,367,930
固定資産	15,761,187,311	固定負債	4,026,808,490
軌道事業固定資産	15,758,205,935	長期借入金	1,224,000,000
建設仮勘定	1,944,000	リース負債	1,211,735,160
投資その他の資産	1,037,376	退職給付引当金	388,293,600
長期前払費用	969,696	預り敷金	1,899,000
その他	67,680	預り保証金	2,700,000
		再評価に係る繰延税金負債	1,198,180,730
		(純資産の部)	12,914,641,742
		資本金	3,000,000,000
		資本剰余金	6,871,521,775
		資本準備金	6,871,521,775
		利益剰余金	301,212,799
		繰越利益剰余金	301,212,799
		土地再評価差額金	2,741,907,168
資産合計	17,920,507,977	負債及び純資産合計	17,920,507,977

2 損益計算書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	決 算	額
経常損益の部		
(営業損益の部)		
軌道事業		
営業収益	2,267,224,995	
営業費	2,369,776,842	
営業損失		102,551,847
軌道事業営業損失		102,551,847
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息	1,099,627	
雑収入	72,222,396	73,322,023
営業外費用		
支払利息	11,220,000	
雑支出	318,025	11,538,025
経常損失		40,767,849
特別損益の部		
特別利益		
補助金	63,327,552	63,327,552
特別損失		
固定資産売却損	26,223	
固定資産除却損	51,138,480	51,164,703
税引前当期純損失		28,605,000
法人税、住民税及び事業税	4,947,436	4,947,436
当期純損失		33,552,436

## IV 平成 29 年度事業計画

《平成 29 年度の事業計画概要》

「北九州モノレール中期 5 か年計画」に基づき増収・利用促進施策や経費削減施策等を着実に実行することにより、経営改善に最善を尽くしていくとともに、安全、正確、快適、利便性の向上に努めていく。

### (1) 主な事業

- ① 運賃改定の検討（シルバーパス値上げ）
- ② 銀河鉄道 999 号記念行事の実施
- ③ 営業施策見直しによる需要の確保
- ④ 賃金制度の改定（30 年度実施に向けて検討）
- ⑤ 設備更新の更新方法の検討（変電設備、駅電気設備）

### (2) 顧客サービスの向上施策

- ① お客様満足度調査実施
- ② 駅舎の改善
- ③ 駅務員、乗務員のスキルアップ

### (3) 増収・利用促進施策

- ① 運輸収入（沿線地域情報の外部への発信、他事業者・沿線施設等との連携強化）
- ② 運輸雑収（魅力ある商品体系の検討、パーク&ライドの推進）
- ③ インバウンド対応

### (4) 経費削減施策

- ① 人件費（タイムマネジメントの実施）
- ② 設備更新費（実行段階での技術的な検討や施工方法の見直しによる事業費の削減）

### (5) 人財の活性化

- ① 評価・賃金制度の改定実施
- ② 将来求められる人財の要件を踏まえた要員計画の策定
- ③ 人財育成体系の確立と実施

### (6) 設備・車両の健全性の確保

- ① 健全性確保のための長期修繕計画の再策定
- ② 中長期設備計画のローリングと実行
- ③ 駅舎、桁の補修（インフラ）※北九州市を入れたプロジェクトでの検討
- ④ 変電設備の更新計画の見直しと実施

### (7) 国の補助金の活用

- ① 地域公共交通確保維持改善事業費補助金
- ② その他補助金の情報収集並びに活用検討

## V 平成 29 年度予算

### 1 予定損益計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科 目	予	算 額
<b>経常損益の部</b>		
<b>(営業損益の部)</b>		
軌道事業		
営業収益	2,141,000	
営業費	2,397,000	
営業損失		256,000
軌道事業営業損失		256,000
<b>(営業外損益の部)</b>		
営業外損益	81,000	81,000
経常損失		175,000
<b>特別損益の部</b>		
特別利益		
補助金		
特別損失		
固定資産除却損	68,000	68,000
税引前当期純損失		243,000
法人税、住民税及び事業税	5,000	5,000
当期純損失		248,000

## 役員名簿等

### 1 役員名簿

平成 29 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	斉藤 淳	(株)スターフライヤー取締役〔兼任〕
代表取締役専務	藤澤 常憲	
取締役	柴田 卓典	北九州市建築都市局長〔兼任〕
常勤監査役	加藤 憲治	
監査役	村地 史朗	北九州市建築都市局総務部長〔兼任〕
監査役	有田 徹也	株式会社福岡銀行取締役常務執行役員北九州本部長〔兼任〕

2 市との特命随意契約の状況（平成 28 年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州都市モノレール小倉線軌道敷等維持修繕業務	259,639	当該業務は軌道敷そのものを扱う維持補修等工事であり、国の指導（軌道経営者が維持修繕を行う）により維持修繕は軌道経営者である同社が行うこととなっている。（また、事故等発生時の迅速な対応などの面からも同社が行うことが適当であり、さらに同社所有の工作車を使用することで経費削減につながる。）	昇降設備保守点検・修繕	87,581	日立ビルシステム、三菱電機ビルテクノサービス、東芝エレベータ、クマリフト、タイコー、オース・エレベーターサービス、三精テクノロジーズ	随意契約（特命）	昇降設備は、メーカーの設計、施工であり、メーカー独自の機器特性等に対応できなければならない。また、メーカーであれば下記に示す事項を充足している。 ①部品調達をメーカー自身が行うため、迅速、確実かつ安価 ②各メーカーの機器構造への最精通者は各メーカー技術者 ③メーカー独自の詳細図面を整理、所有 ④異常、緊急時の連絡体制の確立 ⑤責任所在の明確化
			エレベータ監視システム保守・修繕	808	セイコー電子	随意契約（見積合わせ）	
			香春口エレベーター雨水管緊急修繕	83	小倉	随意契約（見積合わせ）	
			照明管球及び器具取替	555	門電	随意契約（見積合わせ）	
			信号設備（A-2）保守点検	16,200	親和電設工業	随意契約（特命）	分岐器機器は（株）日立製作所の設計、施工であるため、その独自の機器特性等に対応できるのは（株）日立製作所及び長年の実績を有し保守業者である当該業者しかなく、契約価格の比較において明らかに安価である。また夜間の施工は、迅速性かつ正確性が求められるため、新規業者の施工では施工箇所の不具合発生時の対応が迅速にできない。
			分岐設備取替	7,020		随意契約（特命）	
			ロックシリンダー取替	410		随意契約（特命）	
			分岐器機器重要部取替分解修繕補助作業（信号設備）	551		随意契約（特命）	
			手動操作箱取替	616	親和電設工業	随意契約（見積合わせ）	
			ベビコン取替	333		随意契約（見積合わせ）	
電磁弁取替	130	随意契約（見積合わせ）					
可動FP取替	130						



市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			分岐器機器重要 部取替分解修繕	21,384	日立製作 所	随意契約 (特命)	分岐器機器は㈱日立製作 所の設計、施工であるた め、その基本的な性能に 係わる部分の改良などの 機器特性等に対応でき るのは㈱日立製作所しか ない。また夜間の施工は、 迅速性かつ正確性が求め られるため、新規業者の 施工では施工箇所の不具 合発生時の対応が迅速に できない。
			キョモーター分解修 繕	373	日立産機シ ステム	随意契約 (特命)	分岐器機器は㈱日立製作 所の設計、施工であるた め、その独自の機器特性 等に対応できるのは㈱日 立製作所及び同社の子会 社の㈱日立産機システム しかなく、契約価格の比 較において明らかに安価 である。
			分岐器シリンダー機 器分解修繕	1,631	ケイ・エス・ケイ	随意契約 (見積合わせ)	/
			ロックシリンダーハ ネ折 損調査	90			
			ロックシリンダーハ ネ非 破壊探傷検査	43			
			ロックシリンダーハ ネ探 傷検査	43			
			油圧緩衝器ハ ネ 探傷検査	43			
			ハビコン分解修繕	173			
			キョモーター部品非 破壊探傷検査	60			
			分岐器機器重要 部取替分解修繕 補助作業	1,566			
			PC 軌道桁そり 量計測	670	九州高架	随意契約 (見積合わせ)	
			軌道三項目測定	11,340	九州高架	指名競争 入札	
			PC 軌道桁動揺 測定	1,242	タミ	指名競争 入札	/
			遊間測定業務	734			
			建築限界測定業 務	1,404			

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			PC 軌道桁健全 度評価	1,836	水空舎	随意契約 (特命)	当該業務は光ファイバー計測（OSMOS システム）を用いて PC 桁の挙動変化を計測し、PC 桁の健全度評価を行うものであるが、当該業務は業者独自の特殊なものであり、かつ光ファイバー計測はモニタリング調査として継続した業務で、機器も当該業者の機器により行われている。また当該業者は前コンクリート委員会後の調査業務全般（光ファイバー計測等）に亘り、下請業者として入り、当社の PC 桁の特性や A S R の状況に見識も十分あり、かつ全国的に各地のコンクリート構造物の劣化診断を行っており、技術的な判断や考察力においても十分な能力を有している。
			PC 軌道桁ひび 割れ調査補修	4,104	内外構造	随意契約 (特命)	当該業務は徳力嵐山口～志井（下り線）4014 桁で発生した PC 軌道桁変状復旧における補修効果等の考察において、補修材注入状況等の確認の調査（シングル i 工法）を実施するにあたり、その調査工法の権利を得ている。
			PC 軌道桁変状 考察業務	1,080	アルファ	随意契約 (特命)	九州工業大学教授及び有識者と合同で会議を行うための補助業務として徳力嵐山口～志井（下り線）4014 桁で発生した PC 軌道桁変状復旧における補修効果等の考察を目的とし、内容については、第三者被害の危険性もあることから早急に補修効果の考察を行う必要がある。PC 軌道桁構造や変状に対して知識が高く PC 桁の特性に精通している。
			PC 軌道桁緊急 補修	864	コアツ工業	随意契約 (特命)	徳力嵐山口～志井（下り線）4014 桁で発生した PC 軌道桁欠損に伴い PC 軌道桁や RC 支柱の補修工事の経験を有しておりまた、公共工事においても PC 橋梁の新設や補修についても多数の実績があるため。

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			連絡通路照明器具取替(志井・企救丘)	1,242	スピナ	指名競争入札	
			乗降口スロープ設置	11,642	吉元工務店	指名競争入札	
			北方既存スロープ改造	437		随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎雨漏り緊急補修	259	月形防水建設	随意契約 (見積合わせ)	
			且過駅防水補修	1,944	ビルトリヘア 技研工業	随意契約 (見積合わせ)	
			守恒軌道床雨水管詰まり清掃	151	アフェットプラス ワシ	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎軌道床雨水管洗浄工事	1,998		随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎連絡通路外装板緊急点検補修	1,728	寿陽建設	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎連絡通路外装板緊急点検補修(その2)	1,101	双葉産業	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎連絡通路外装板緊急点検補修(その3)	1,199	板井築炉	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎雨漏り緊急工事	666	大同建設	随意契約 (見積合わせ)	
			伸縮継手検査	745	アルファ	随意契約 (見積合わせ)	
			北方駅屋根改修	621	ケーワン	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎天井板緊急補修他	472	下川都市 企画	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎ホーム階内装修繕	1,080	工材社	随意契約 (見積合わせ)	
			天井板復旧(城野)	214		随意契約 (見積合わせ)	
			天井板復旧(平和通)	76	若佐建設	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎軌道床雨水管洗浄	1,199	千代田	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎軌道床雨水管洗浄(その2)	1,836		随意契約 (見積合わせ)	
			雨水洗管工事	594	小倉	随意契約 (見積合わせ)	
			且過駅軌道床鋼板補修工事	309	西部産業	随意契約 (見積合わせ)	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			徳力公団前 雨水配管補 修他	119	大同建設	随意契約 (見積合わせ)	
			公団前雨漏 りに伴う照 明設備撤去 復旧	54	日本電設 工業	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎雨漏り に伴う天井 板緊急補修	132	林技研	随意契約 (見積合わせ)	
			連通内壁補 修他	182		随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎雨漏り に伴う照明 設備撤去復 旧	103	日本電設 工業	随意契約 (見積合わせ)	
			旦過駅舎外 壁緊急点検	158	関門エンジ アリング	随意契約 (見積合わせ)	
			志井連絡通 路雨漏り補 修	59	月形防水	随意契約 (見積合わせ)	
			平和通北口 便所段差解 消工事	2,052	福嶋建設	随意契約 (見積合わせ)	
			北方連絡通 路床石補修	124	美山森	随意契約 (見積合わせ)	
			小倉駅風防 ガラス等特別 清掃	669	JR九州メン テナンス	随意契約 (見積合わせ)	
北九州モノレ ール長寿命化 計画に基づく 工事の実施に 係る監督管理 の一部及びこ れに付帯する 業務の委託	17,700	北九州モノレール小倉線軌道敷の長寿命化工事に関する協定(基本協定、H24.7.19締結)に基づくもの。	再委託なし				
合計	277,339		合計	196,262			